

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名: **SC-AU7専用カラーマスター**

製品種類: トナー

使用上の制限: 業務用

会社名: シーカ・ジャパン株式会社

住所: 東京都港区元赤坂1丁目2番7号 赤坂Kタワー7F

電話: 03-6434-7291

SDS No.: 410904010-3

2. 危険有害性の要約

製品のGHS分類、ラベル要素

GHS分類

物理化学的危険性

引火性液体: 区分に該当しない

健康に対する有害性

急性毒性(経口): 分類できない

急性毒性(経皮): 分類できない

急性毒性(吸入): 分類できない

皮膚腐食性/刺激性: 分類できない

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性: 区分 2B

呼吸器感作性: 分類できない

皮膚感作性: 分類できない

生殖細胞変異原性: 分類できない

発がん性: 区分 2

生殖毒性: 分類できない

特定標的臓器毒性(単回ばく露): 区分 3

特定標的臓器毒性(反復ばく露): 区分 1

誤えん有害性: 分類できない

環境有害性

水生環境有害性 短期(急性): 区分に該当しない

水生環境有害性 長期(慢性): 区分に該当しない

オゾン層への有害性: 区分に該当しない



注意喚起語: 危険

危険有害性情報

眼刺激

発がんのおそれの疑い

呼吸器への刺激のおそれ

長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害

注意書き

安全対策

取扱う前に全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わない。
保護手袋/保護眼鏡/保護衣/保護面などの個人用保護具を着用する。
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入してはならない。
熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざける。ー禁煙。
取扱い後は手洗い・うがいをする。
この製品を使用するときに、飲食または喫煙してはならない。
環境への放出を避ける。
容器は密閉しておく。

応急措置

気分が悪い時は、医師の診断/手当を受ける。
飲み込んだ場合:直ちに医師に連絡する。口をすすぐ。無理に吐かせてはならない。
皮膚(または髪)に付着した場合:直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぎ皮膚を流水/シャワーで洗う。
吸入した場合:空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。
眼に入った場合:水で数分間注意深く洗う。コンタクトレンズを着用し容易に外せる場合は外し洗浄を続ける。眼の刺激が続く場合、医師の診断/手当を受ける。
暴露または暴露の懸念がある場合:医師の診断/手当を受ける。
汚染した衣類を再使用する場合は洗濯する。
漏出物を回収する。

保管

直射日光、凍結を避け、換気の良い涼しい所で、容器を密閉し保管する。

廃棄

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄する。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別 :混合物

化学名 :シーリング材用顔料

成分名	含有量(%)	CAS No.
酸化チタン	0-60	13463-67-7
酸化第二鉄	0-15	1309-37-1
カーボンブラック	0-20	1333-86-4

4. 応急措置

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
気分が悪い時は、医師の診断/手当を受けること。

皮膚(又は髪)に付着した場合

多量の水と石鹼で洗うこと。
皮膚刺激または発疹が生じた場合、医師の診断/手当を受けること。

目に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用して容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合は、医師の診断/手当を受けること。

飲み込んだ場合

水で口の中をよく洗う。
気分が悪い時は、医師の診断/手当を受けること。

最も重要な徴候及び症状

データなし

応急措置をする者の保護

救助者はゴム手袋、保護眼鏡などの保護具を着用する。

5. 火災時の措置

適切な消火剤

粉末、炭酸ガス、泡、乾燥砂、霧状水

不適切な消火剤

データなし

特有の危険有害性

燃焼ガスには、一酸化炭素、二酸化炭素等の有害ガスが含まれるので、消火作業の際には、煙を吸入しないように注意する。

特有の消火方法

消火作業は、風上から行う。

消火のための放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないよう適切な措置を行う。

消火を行う者の保護

燃焼により有毒なガス(一酸化炭素、二酸化炭素)が生成するので、呼吸保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。

作業の際には必ず保護具を着用する。

環境に対する注意事項

河川、下水道への流出、土壌への放出を防止する。

回収、中和 ならびに 封じ込め及び浄化の方法/機材

不活性の物質(乾燥砂、土など)に吸収させて、容器に回収する。

多量に流出した場合、盛土で困ったのち処理する

二次災害の防止策

付近の着火源となるものを取り除く。

着火した場合に備えて、消火用器材を準備する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

(取扱者のばく露防止)

粉塵/煙/ガス/ミスト/蒸気を吸入しないこと。眼、皮膚、衣類に付けないこと。

(火災・爆発の防止)

火気注意

局所排気、全体換気

屋外または換気の良い場所でのみ使用する。

注意事項

指定された場所以外では、飲食、喫煙を行ってはならない。

安全取扱注意事項

使用前に取扱い説明書を入手する。保護手袋及び保護眼鏡/保護面を着用すること。

取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする

配合禁忌等、安全な保管条件

適切な保管条件

容器を密閉して換気の良い場所で保管する。施錠して保管すること。

避けるべき保管条件

熱及び直射日光を避ける。

配合禁忌

消防法で定める混載禁止物質との同一保管は禁止。

セットで販売している化学物質以外との配合は禁止。

容器包装材料

データなし

8. ばく露防止及び保護措置

職業ばく露限界値、生物学的限界値等の管理指標

管理濃度 :データなし

許容濃度

(酸化チタン) ACGIH TWA 10mg/m³ (2009年版)

(酸化第二鉄) 日本産衛学会 吸入性粉じん 1mg/m³、総粉じん 4mg/m³ (2005年版)

(酸化第二鉄) ACGIH TLV-TWA 5mg/m³ (2005年版)

(カーボンブラック) ACGIH TWA 3.5mg/m³ (2009年版)

設備対策

労働衛生法上の規制に従って、可能な場合には、換気設備などの施設上の技術的な対策を講じて作業者を保護しなければならない。取扱い場所の近くにシャワー手洗い洗眼設備等を設けその位置を表示する。

保護具

呼吸用保護具

必要に応じて、その有害性物質に対して適切な保護の出来る保護マスクを着用する。

手の保護具

保護手袋を着用する。

着用すべき手袋の材質:不浸透性の耐油性手袋(アクリロニトリル、ブチルゴム、ネオプレン系)

眼の保護具

保護眼鏡または防災面を着用する。

皮膚及び身体の保護具

保護衣および必要に応じて保護長靴、保護前掛けを着用する。取り扱う場合には、皮膚を直接曝さないような衣類を着けること。また化学薬品が浸透しない材質であることが望ましい。

衛生対策

取扱い後は、良く手洗いうがいをする。この製品を使用するときは、飲食又は喫煙をしてはならない。汚染した衣類を再使用する場合は洗濯する。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態 : 液体(ペースト状)

色 : 任意色

臭い : データなし

融点/凝固点 : -45°C

沸点又は初留点及び沸点範囲 : 403°C

可燃性 : データなし

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界 : データなし

引火点 : 235°C

自然発火点 : データなし

分解温度 : データなし

pH : 該当しない

粘度 : データなし

動粘性率 : データなし

溶解度

水に対する溶解度 : データなし

n-オクタノール/水分配係数 : データなし

蒸気圧 : データなし

密度及び/又は相対密度 : 1.1-1.9g/cm³ (23°C)

相対ガス密度(空気=1) : データなし

粒子特性 : データなし

10. 安定性及び反応性

安定性

通常の温度、圧力の条件下では安定である。

危険有害反応可能性

特記すべき反応性なし。

避けるべき条件

データなし

混触危険物質

データなし

危険有害な分解生成物

通常の保管及び使用条件下では、危険な分解生成物は生成されない。

11. 有害性情報

物理的、化学的及び毒性学的特性に関係した症状

急性毒性 :データなし

局所効果

皮膚腐食性・刺激性 :データなし

眼に対する重篤な損傷・刺激性

眼損傷性/刺激性成分データ

(酸化チタン) ウサギの試験で軽度の刺激性 (IUCLID (2000)) との記載

(酸化第二鉄) ヒトでcorrosive(IUCLID (2000))との記載

感作性 :データなし

生殖細胞変異原性 :データなし

催奇形性 :データなし

発がん性

(酸化チタン) IARCで2Bに分類(超微粒酸化チタン(粒径10-50nm))

(カーボンブラック) IARC71(1999)で2B、産衛学会勧告(2004)で2Bに分類

生殖毒性 :データなし

短期ばく露による即時影響、長期ばく露による遅延/慢性影響

特定標的臓器毒性 単回暴露 成分データ

(酸化第二鉄) ヒトで咳が見られ、息苦しさもあるとの記載(ICSC(J) (2004), IUCLID (2000))

特定標的臓器毒性 反復暴露 成分データ

(酸化第二鉄) ヒトで胸部X線所見に異常を生じるが、臨床的に問題はないとの記載(ACGIH (2001))、および肺に蓄積すると鉄症になるが、良性のものであり線維症に進展しないとの記載(ACGIH (2001))がある。また、曝露により金属熱にかかることがあるとの記載(IUCLID (2000))がある。良性ではあるが肺への影響が見られたこと、および金属熱にかかる可能性がある。

(カーボンブラック) 特に長期間(10年以上)ばく露されたヒトにおいて咳、痰、慢性気管支炎、肺機能障害、塵肺、肺気腫、肺血流障害、閉塞性呼吸障害、気管支過敏症、気道抵抗と呼気流の低下など肺に特徴的な多くの症状が現れ(IARC vol. 65 (1996))、さらに胸部X線写真で微細なびまん性変化を示し、組織学的検査ではカーボンブラック微粒子の沈着と気腫に関連する細網線維形成が明らかとなったこと(IARC vol.65 (1996))が報告されている。

誤えん有害性 :データなし

12. 環境影響情報

生態毒性 :データなし

残留性・分解性 :データなし

生体蓄積性 :データなし

土壌中の移動性 :データなし

オゾン層破壊物質 :データなし

その他情報

その他の環境有害性情報 漏洩、廃棄などの際には環境に影響を与えるおそれがあるので取り扱いに注意する。
特に製品や洗浄水が地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法

都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託処理する。

汚染容器及び包装

空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類

国連番号 :該当しない

指針番号 :該当しない

輸送の特定の安全対策及び条件

容器の破損、内容物の漏れがないことを確かめ、転倒、落下、破損の無いように積み込み、荷崩れを防止すること。火気注意。

陸上輸送 :消防法、労働安全衛生法の輸送について定めるところに従う。

海上輸送 :船舶安全法に定めるところに従う。

航空輸送 :航空法に定めるところに従う。

15. 適用法令

毒物及び劇物取締法

該当する化学品を意図的成分として含有せず、購入原料に不純物として含有するとの情報を受けていません。

労働安全衛生法

施行令18条 名称等を表示すべき危険物及び有害物

酸化チタン; 酸化第二鉄; カーボンブラック

施行令18条の2 名称等を通知すべき危険物及び有害物

酸化チタン; 酸化第二鉄; カーボンブラック

特定化学物質障害予防規則

該当しない

有機溶剤中毒予防規則

該当しない

化学物質管理促進(PRTR)法

該当しない

消防法

非危険物

海洋汚染防止法

有害液体物質(混合物)

16. その他の情報

参考文献

JIS Z 7252, JIS Z 7253 : 2019

Supplier's data/information

化学物質総合情報提供システム (独立行政法人製品評価技術基盤機構NITE)

責任の限定について

本データシート記載内容は、現時点で入手できる資料、情報、データにもとづいて作成しておりますが、化学品の含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また、記載内容は新しい知見又は法規制の変更等により改訂されることがあります。

注意事項は、通常の取扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。

以上